

研究課題名 メタボリックシンドロームと高尿酸血症の関連性

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可をした研究です。

2016年4月から2021年3月までの間に定期健診を受診した千葉県職員を対象に、健診の結果に基づき、血清尿酸値とメタボリックシンドロームとの関連を後ろ向きに評価し、その関連性を検討することを目的として実施します。研究期間は2023年3月31日までの予定です。

この研究により血清尿酸値とメタボリックシンドロームとの関連性が判明すれば、保健指導時の血清尿酸値の有用性が明らかになります。無症候性高尿酸血症に対する認識を変え、動脈硬化予防の新たな指標となり得る可能性や課題が明らかになることが期待されます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究は定期健診結果のみを収集する疫学研究であり、本研究のために人体資料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除し、個人が全く分からない状態でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究は、定期健診受診時に健診結果を学術研究に使用することについてご同意いただいた方について、誰のデータか分からない形で提供を受けて実施します。ご自身のデータが利用されることについて同意撤回の場合は、2023年3月31日（データ収集から解析を含む期間）までにお申し出ください。お申し出のあった場合は、あなたのデータを削除した後に当財団にご提供いただきます。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合や、本研究についてのお問い合わせにつきましては、調査研究部までご連絡ください。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団総合健診センター
副センター長 角南 祐子